

# 河嶋 愛基

Kawashima  
Aiki

## あびら教育プラン推進員 学びプロモーター

令和2年度も引き続き、教えない放課後教室「あびらぼ」の企画運営を担当しました。週1回の通常プログラム（追分・早來各教室につき小学部および中学部を設置）には現在33名の小中学生が参加し、学校や学年を越え学びを深めています。授業には「探究シリーズ（身近なテーマをいつもと違う視点から捉え直すこと）、見える世界を拡げより面白くする授業」と「スキルシリーズ（社会で必要な力や伝える力をつける授業）」の2種類があります。9月まではオンライン、10月以降は新型コロナウイルス感染症対策を徹底し対面にて開講してきました。プログラムを通して、子どもたちはこれまで以上に「なんでもない日常に、おもしろフィルターを」かけられるようになったと感じます。また、令和2年度からは「あびら教育プラン」の取り組みの一つとして、

あびらぼは  
こちらから



「遊育事業」や「カイトク事業」との連携を進めてきました。何度かあびらチャンネルに出演させていただいたことで、子どもたちから「あいきち」と声を掛けてもらえる機会も増えました。さらに、教室だけにとどまらず、小中学校との連携や町外向けの活動など新たな取組みにも積極的に挑戦しました。「センセイサポート」では、小学校における授業等の設計・実施を担当いたしました。安平・苫小牧・千歳の3地区にて行った公開探究授業では、計100名を超える親子にあびらぼのプログラムを体験していただきました。



# 松岡 亮

Matsuoka  
Ryo

## あびら教育プラン推進員 チャレンジプロモーター

令和元年度から始めているクラウドファンディング支援活動のほか、令和2年度はコロナ禍における飲食店のオンラインチケット販売サポート、町民の方の小さな挑戦を応援する仕組みを作るなど多岐にわたる活動を実施しました。

クラウドファンディングでは「あびらジギスカンプロジェクト」が好評で、支援者数509人、総支援金額283万6000円、支援達成率94.5%と素晴らしい結果になりました。また、やりたいことや小さなアイデアを聴衆の前で発表して資金を募るリアルクラウドファンディングイベント「アビラトークス」もエントランスで2回開催し、合計で5名の登壇者、延べ46名の方が参加してくれました。このアビラトークスからは4つの面白いプロジェクトが成立しています。令和3年度も、一歩踏み出す人の支援、そしてそれを応援するコミュニティづくりを推進し、安平町に挑戦文化を根付かせることに取り組みたいと思います。（特に子どもたちの挑戦教室!?を作る予定なのでご期待ください♪）

カイトクは  
こちらから

